

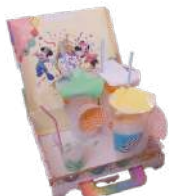
2019年度
学芸の森保育園 作品展

おばけの
まじくひんてん



2020年 2月20~22日

会場 東京学芸大学コミュニティセンター



主催
東京学芸大 学芸の森保育園
協力
東京学芸大学 笠原広一研究室



ねんど がくげい もり ほいくえん もり さくひんてん
 2019年度 学芸の森保育園 おばけの森の作品展



ごあいさつ

作品展開催にあたって

東京学芸大 学芸の森保育園は大学の中にある保育園の特性を活かして「造形遊び」、「科学遊び」、「運動遊び」、「表現遊び」などの大学との連携活動に取り組んでいます。どの活動もアクティブで子どもの興味や関心をうまく捉えながら進めているので子どものノリもよく少人数ならではのよさも出ています。その中でも「造形遊び」は大学教員や院生、保育士が連携をしながら活動に取り組んでいます。子どもは、いろいろな素材に触れたり、五感を通じて感じたりしながら自分なりに考え、イメージを広げて様々な表現を楽しんでいます。活動の中に引き込まれた瞬間、その世界に入り込んでキラキラ輝いているのです。その表現力には目を見張るものがあります。造形活動では、結果よりもプロセスを大切にしており、試行錯誤を繰り返しながら形が出来上がっていく達成感や自信などが、やがて子どもたちの「生きる力」につながっていくと考えます。通常の保育では日々の散歩やわらべうた・リズム&リトミックなども取り入れており、様々な活動の融合がバランスのとれた園生活につながっています。

幼児組は「ハロウィンのお化け」から星空パーティーで、父母を巻き込んで「お化け屋敷」を行い、さらに、お楽しみ会で「ファッションショー」や「お化けの劇」の発表も行いました。その後も「お化け人形による影絵シアター」、「楽器遊びからのお化けの音作り」、大画面に映して「映画」の制作上映も行いました。年長児を中心に「お化け会議」がそのつど開かれて、1年の後半を「お化けブーム」で楽しく過ごしました。子どもたちの発想は豊かで次々とイメージがわきます。そして、様々な活動を通して視野がどんどん広がってきています。大人が考える以上に子どもたちの「育ち」は確かなものになっています。素敵ですね。

今回の作品展では、0歳から5歳までの子どもたちが普段の保育の中で描いたり、作ったりしたものを展示します。乳児期からいろいろな素材や環境に触れて生活している子どもたちの、のびのびとした作品をどうぞご覧ください。鑑賞の後には1年間の活動を振り返って、保護者の皆様と保育者、大学の教員、学生によるカンファレンスを予定しております。また、4年間にわたり「造形活動」のご指導をいただいた笠原先生と大学院生の皆様に感謝を申し上げます。

令和2年2月吉日
 東京学芸大 学芸の森保育園
 園長 真木千壽子



アクセス

東京学芸大学コミュニティセンター
 〒184-0015 東京都小金井市貫井町2-17-3
 (ローソン東京学芸大学前店 隣)
 JR武蔵小金井駅・北口より
 京王バス6番のりば「中大循環」行き
 「学芸大東門」下車 徒歩5分



お問い合わせ 学芸の森保育園

TEL : 042-324-6629 HP : <https://hoikuen.codomode.org/>



さくひん

- 0歳 どんぐりぶどうえん
- 1歳 はっぱのき
- 2歳 みんなのおいも
- 3.4.5歳 おばけ・いしょう・えいが 他



会期

- 2月20日(木) 17:00~18:00
- 2月21日(金) 9:30~18:00
- 2月22日(土) 9:00~12:00



イベント

日時：2月22日(土) 10:30~11:30

「子どもアートカンファレンス」

- 第1部 アートの表現活動を通して1年を振り返る
- 第2部 アート活動から見えてくる子どもの多様性
- 第3部 大学院生による実践報告
- 第4部 ご来場の皆様とのフリートーク

<保育園>

大谷 忠 (東京学芸大こども未来研究所理事長・
 東京学芸大学教育学部教授)

鉄矢 悦朗 (東京学芸大こども未来研究所副理事長・
 東京学芸大学教育学部教授)

真木 千壽子 (東京学芸大 学芸の森保育園 園長)
 森 美紀・田張 由紀・片岡 雅子・堀田 桃子・

宮内 和美・中森 沙紀 (東京学芸大 学芸の森保育園 保育士)

<連携造形活動・大学院>

笠原 広一 (東京学芸大学教育学部准教授)

小室 明久 (中部学院大学短期大学部幼児教育学科助教)

白神 瑛子・肥前 新菜・寺島 知春 (東京学芸大学 大学院生)

和田 賢征・池田 晴介 (東京学芸大学 学部生)

竹 美咲 (東京学芸大学 個人研究員)



ポスター制作：肥前 新菜・竹 美咲